

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・クリアランスセールに合わせて下取りセールを始めた。紳士服、紳士靴、婦人のフォーマルを合わせて連動した結果、非常に多くの客が来店している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・梅雨の長雨にもかかわらず、前年比で売上が107%、客数が105%と引き続き好調である。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エコポイント効果が出てきている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・6月下旬より売上、来客数共に多少上向きになってきたが、前年近隣にオープンした商業施設の影響があり、一概に景気回復とまでは言いがたい。売上は前年を割っているが、来客数は前年を上回る日も出てきている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・7月は夏物クリアランスセールが始まり、お中元ギフトが最盛期を迎えたため、5、6月より来客数が増加し、売上も前年比で2～3%向上している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・盛夏商材は冷夏となり前年比で2割減少し単価も落ちているが、来客数は前年比120%以上となっている。価格は廉価なものが人気である。中国産などの輸入食品に対する客の反応は以前のように悪くない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・天候が非常に不順であるが、それでも夏ということ多少良い状況である。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新しく開発した食育弁当の予約を取れたこと、土用の丑の日でうなぎのかば焼弁当の予約を取ったことが要因となり、幾らか良くなっている。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・エコ商品は前年比150%ぐらいで推移している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・郷土色を出したメニューに変え、多少、県内客に認められてきていたが、ここに来て土日の県外客が大幅に伸びている。
	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・4月以降、来客数、売上共に前年度比で微増、6月まで堅調に推移した。今月は天候不順にもかかわらず過去15年で最高の宿泊者数となった。お得な宿泊プランの造成、テレビドラマ等の影響が考えられ、高速道路料金引下げ等も後押しをしたものと思われる。	
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	お客様の様子	・客の滞留時間が多少長くなっており、1日当たりの来客数が戻りつつある。3か月前までは、2時くらいで客が帰ってしまっていたが、今は4～6時までの程度にぎわっている。特にゲームコーナーはにぎわっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・一時より観光で来店する客が増えてきているように感じるが、出張客は相変わらず少ない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・エコポイントが始まり、やや商品の売れ方が良くなってきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・七夕祭りの曜日の関係で人出がやや多かったものの、それ以外は相変わらずで好転の兆しは見えない。
一般小売店〔精肉〕（経営者）		お客様の様子	・暑い日が続いており、食欲も出ないのか土用の丑も各スーパーのチラシ合戦は盛り上がりなかった。根菜類は値上がりしているが、豚肉は値下がりしているので売行きが悪い。	
一般小売店〔乳業〕（経営者）		販売量の動き	・今年度の中で前年比の落ち込みが1番激しい。	
一般小売店〔家電〕（経営者）		お客様の様子	・エコポイントの絡みで家電製品の動きが多少出てきているが、消費者の財布はなかなか開いてこない。出費の見通しはあっても収入増の見通しが付かない現状では消費意欲も出ず、商売は厳しい。	
百貨店（総務担当）		販売量の動き	・お中元商品の来客数は前年より1割以上増えているが、1件当たりの配送が減少している。前年と比べ、人気の高い産地直送商品が少なく、10%早期割引の送料無料の商品が多いため、売上単価が低下している。	
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・クリアランスセールが始まったが、引き続き衣料品は厳しい状況が続いている。食品、化粧品等生活必需品は、衣料品ほどの落ち込みではないが、前年実績は確保できていない。お中元ギフトは法人需要が減少しているが、それ以外はほぼ前年並みである。	

スーパー（経営者）	単価の動き	・節約志向がさらに強くなってきている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・衣料品関係が本当に悪く、食品はほぼ横ばいという流れは、ここ数か月変わらない。夏場になって食品についても若干下降気味となっている。
スーパー（統括）	単価の動き	・お中元はボーナスの減額や支給日の遅れ等で6月の出だしが鈍く、7月第4週でようやく点数は追いついたものの、単価は前年比97.3%とダウンし、苦戦している。食品全般は復調の兆しが見えてきたが、依然、衣料品は不調である。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・セールやイベントがあった場合は、客の反応も良く販売に結び付くが、それがなければ通常と変わらない。来客数は極端に減っていないが、セールが無いと増えてはこないで、状況としてはあまり変わっていない。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・大型店の早期バーゲンの影響で商店街の売上は厳しい。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・吸い上げは早かったが、夏物衣料の販売量は前年並みの低レベルである。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・エコカー減税についての問い合わせ等はあるが、契約には程遠い。
住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・夏物商材が前年比70%である。6月末にピークがあったがその後低調である。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・ディナーの来客数が減っており、客単価が低くなってきている。段々悪くなってきている。
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ボーナス時期を迎えているにもかかわらず、客の出足は通常月と変わらない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・底の状態が続いたままである。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・個人客の動きが若干あるが、毎年行われているスポーツ大会、催事、団体の宿泊客が前年比で大きなマイナスとなっている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・上半期を過ぎ、半年間で宿泊が約5,000名を超えるほど減少しており、非常に危惧している。そこにきて、総会の後に懇親会をやらない企業が大分増えてきている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・客は戻りつつあるが販売額は減っている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・3か月前は新型インフルエンザ等の影響でダメージが大きくあったが、現状ではその影響はなくなっているものの景気そのものは低迷のままと思われる。祭りや花火大会等に企業からの援助が無く中止になっているところも出てきている。
旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・新型インフルエンザの影響がなくなってきており、今月は夏休みに入るということで通年なら1番個人の予約が入る月であるが、例年のような大きな動きが無い。ただし、後半は動きが出ている。医師は海外を避けて、国内旅行にシフトしているのが特徴である。
タクシー運転手	販売量の動き	・ここ2か月、前年比90%の売上が続いており、不景気も底をついたと思われるが、明るい材料も無く苦しい状況は変わらない。
タクシー運転手	それ以外	・相変わらず駅前からタクシーを利用する客が少ない。特に午後2時以降は夕方、夜までタクシーを利用する客が少ない。電話の注文も少ない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・予想していたものの、各企業のボーナス支給額は落ち込んでいる。ただ従業員の多くがボーナスをもらえるだけ良いと言った考え方に変わってきているために、大きなニュースになるようなこともないが、結果として消費されることなく貯蓄に回っている。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者は昨年と同じである。
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・日照時間が少なく、雨が多いという天候不順で予約のキャンセルが非常に多い。また、土日の県外来場者が減少している。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共下がりが気味にある。
その他サービス [自動車整備業]（経営者）	来客数の動き	・車検入庫量が先月より3%減少している。今月は9%落ち込み、今期3か月間に前年度を若干上回った分を食いつぶし、前年度以下となる予定である。

	その他サービス [清掃] (所長)	それ以外	・ボーナスが支給されたが減額されており、必要なもの以外購入する余裕はないため、変わらない。
	設計事務所 (所長)	来客数の動き	・こここのところ状況はあまり変わらない。以前のように問い合わせが皆無とすることは無く、1、2件の問い合わせは入ってくる。ただしそれが実現には至らない。
	設計事務所 (所長)	来客数の動き	・現在は、たまたま仕事の受注が重なってしまい、忙しい状態であるが、景気が上向いたからではない。相談、照会等の来客数は相変わらず少ない。
	設計事務所 (所長)	来客数の動き	・先月は割と忙しく回復の兆しがあったが、今月はまた来客数が減ってきている。内容もあまり期待できない。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・販売数はもとより、来客数も減っている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅展示場や分譲地現場見学等による来客数の増減は見受けられず、受注量も横ばいの状態が続いている。
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	単価の動き	・単価の低いものだけが動いており、他のものは非常に動きが悪い。
	商店街 (代表者)	それ以外	・政府の景気対策の効果も薄らいできたようで、商店街のイベントにも懸念が見え始めてきている。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・まだスポーツシーズンだが、一般客の購買力は落ちている。学販についても水着、キャンプ用品等が一休みである。売上が本当に落ち込んでいる。
	一般小売店 [青果] (店長)	販売量の動き	・客が来ても客単価が本当に低く、必要なものしか買わないという感じが見受けられる。果物の動きが非常に悪い。
	スーパー (総務担当)	来客数の動き	・食品の来客数が減少し、目玉商品以外の動きは鈍い。週末でも購入点数は減っている。競合店も来客数はまばらで、給料支給後も消費は抑えている。
	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・昨年の気温が高かったので単純に前年との比較はできないが、季節商材の販売量、客単価の減少等、良くなる要素がない。
	家電量販店 (店長)	販売量の動き	・商品によって好調、不調がはっきり分かれている。エコポイント対象商品の薄型テレビや冷蔵庫は2けたの伸びで好調に推移しているが、エアコンは猛暑が来ないため前年比70%を割り込んでいる。その他の商品に関しては、消費意欲を感じられない。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・エコカーのみの販売で、他の車は依然として買い控えが続いている。
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・やや販売量が落ちている中で、客の会社が無くなったり、会社をリストラされる客がいて、車を買うことが出来なくなっている。工場なども海外に移転されている傾向にあり、先々身の回りの環境が寂しくなっていく。
	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・買上点数や1人当たりの客単価が下がっている。特に、夏物の動向が非常に悪く、商品によっては前年の50%のものもある。
	住関連専門店 (開発業務責任者)	販売量の動き	・単品での販売量が減少している。来客数は前年並みであるが、買上客数が減少している。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・売上が前年比約20%落ち込んでおり、深刻な状況である。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・天候不順も響いており、夏休みに入っても来客数が伸びない。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・客の年齢層に偏りがある。もともと年配の客が多いが、仕事関係等での利用がかなり減り、なお一層年配客の来店が目立っている。
	通信会社 (経営者)	お客様の様子	・クライアント先のお中元の売上が昨年と比べてかなり減少している。
通信会社 (経営者)	販売量の動き	・エコポイント商品も景気に影響のない年金受給者層のみの購入が目立つ。	
ゴルフ練習場 (経営者)	単価の動き	・客は買い控えをしており、必要なものしか買わない。客単価が下がっている。	
ゴルフ場 (業務担当)	単価の動き	・客単価が悪くなっている。	

	美容室（経営者）	それ以外	・美容院の固定経費を削減しようとする経営相談が多数見られる。支店の閉鎖、人件費の削減、テナント料金の削減、売上があまり増えていない状況の中、いろいろ経費を抑えようと努力している経営者が増えている。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	単価の動き	・来客数は約10%上がっているが、単価は逆に5～6%くらい下がっている。そのため、総体的な売上は下がっており、やや悪くなっている。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・全体的に事業計画が収縮している。全体的に不景気感がある。
悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・夏休みに入って、運動着類の売上が減っている。天気も良くないので動きが鈍っている。
	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・夏休み前ということもあるが、ミニ展示会をやっても全く売れない。エコカー、エコ減税ということでハイブリッドがもてはやされているので、中古輸入車は売れない。何でこんなに売れないのかというくらい売れていない。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夕食、夜の宴会等の数、来客数共に減っている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・6月はそれほど悪くなかったが、7月に入ってから悪くなってしまった感じがする。6月は定額給付金の効果が出ていたと思われる。
	スナック(経営者)	お客様の様子	・とにかく客の流れが無い。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・景気が上向きになってきている話も聞いているが、地方都市においては今が最悪なのではないか。やはり客の動きが非常に鈍いこと、天候が不順であることと合わせて、例年だと夏場7月になると学生のスポーツ大会等で動きがあるが、今年は別地域で行われているので、当地域は非常に閑散としている。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体的に動きは悪いが、特に夜の動きが悪く、前年より23%の減少であった。
	通信会社(経営者)	販売量の動き	・年度始めに比べ、民間からの受注量が更に悪化している。年度契約の受注でさえ中途解約等に至っている。物販、飲食、サービス業等広告自体を宣伝の中心ととらえる業種からさえなかなか受注に至らず、この状況は同業他社も同様と聞いている。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・経営難などの影響もあると思うが、入札価格が低くなるなど、建設業界にも価格破壊が見られ、先が見えない。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子
企業動向関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き ・現在の景気については3か月前と比べると様変わりしている。4月あたりは前年比50%弱の受注減であった。現在では前年比80%まで回復しており、非常に良くなってきている。上昇基調に入っているのは間違いない。
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子 ・苦戦はしているものの、国産100%等、品質の保証されている商品は良い。
		一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子 ・仕事が大きく戻る気配はないが、新たな問い合わせは増えてきており、自動車関連では試作も徐々に動き出してきた。また、工場の操業も、臨時休業を取りやめる会社が出てきている。
	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き ・廃家電プラントを持っている取引先はエコポイント制度導入等の影響で仕事が回復してきている。当社の回収装置のメンテナンスの仕事が忙しく、新規購入の商談や大型装置の生産及び商談が忙しくなっている。	
変わらない	出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	取引先の様子 ・仕事の数としては上向きであるが、昨年と比べると減少しており、ほとんど変わらない。	
	プラスチック製 品製造業(経営 者)	受注量や販売量の動き ・現在のところ横ばいでなかなか上昇しているとは言えない。	
	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子 ・値段を下げないと仕事が取れないので苦労しているが、これ以上値引きしては仕事が出来ない。	

	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・親企業の海外展開と国内減産で大変なことになっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が下げ止まりになっているが、これから上昇に転じると言う、受注量がそんなにならぬので、上昇には向かないで平行線もしくはまたぐんと下がる。非常に厳しい状況が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・2～3か月前よりも取引先等、競争相手も若干回復して来ている。100%のうち70%くらいは回復してきている。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・全体的に輸送受注量はほぼ前年並みである。しかし、長雨などの天候不順により、夏物家電の入荷経過は予定より悪く、メーカー在庫になっている。
	金融業（総務担当）	取引先の様子	・取引先では、受注している定期的な仕事が中止や延期になることが多く、売上の減少傾向が続いている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光地では景気低迷と新型インフルエンザの影響が依然として続いており、観光客が回復していない。天候不順も多少は影響していると思われる。
	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・取引の提案をしても、なかなか通らないということもあり、販売もしているがその割合もなかなか上がらないので、大きく変化しているという感じはない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気の持ち直しの報道がされており、エコポイント対策で家電量販店のチラシは増加しているが、全体では低迷が続いている。例年ならボーナス商戦、お中元、サマーセールといった時期だが、その効果は薄く、チラシ出荷量は95.6%である。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・個人消費や設備投資に引き続き大きな変化はない。企業は売上が低迷する中、新たな収益源を求めて模索しているが、明日にも成果を生むような即効性がある取組みはまれである。新規開業の動きもあるが、総需要と個人の消費マインドの盛り上がり期待される。
	社会保険労務士	取引先の様子	・夏季賞与の季節になり、他社は賞与を出しているのか聞かれることが多く、出すかどうかまだ迷っているところが多い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の生産量、販売高が増加しつつあるが、情報化投資はまだまだ手控えており、しばらくこの状態が続く。
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き	・今まで絶対に扱わなかった商材を地元スーパーが扱っている。単価は3分の1なので、点数は増えるが売上は伸びず、当社製品も減り、デフレスパイラルになりつつある。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の回復の兆しは無い。自動車関連が少し動き出した話は聞くが、当業界に影響が出るのは数か月先であり、それも本当にあるのかという状況である。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新商品を投入してはいるものの、店頭販売状況が低推移のままである。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・倒産、閉鎖等による淘汰が進んでいる。そのため一部に受注見積が入っている。ただし、生産が増えだした傾向は無い。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の営業マンと現況を話す、全ての方が現況より良くなると回答が返ってくる。当社でも人員の削減が始まっている。
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・相変わらず受注減が続いている。同業他社もすべて仕事量が激減しているとのことである。
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）		受注量や販売量の動き	・全くと言っていいほど宝飾品のマーケットは動いていない。低価格品も動きが鈍い。夏のファッション傾向もカジュアル化が進み、宝飾品離れが起きている。
雇用関連	良く なっている	-	-
	やや良く なっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き

	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・このところ企業からの依頼がほとんどない。
	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・景気動向には改善の気配が見られるが、雇用動向に改善は見られない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・地元で1,000人くらい従業員のいる製造業の事業所が200人希望退職をつのるということで、景気の回復等とはほど遠く、雇用情勢はさらに厳しさを増している。
	職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・企業採用者等の話を聞いても、あまり景気は変わらないという回答が返ってきている。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・企業側の求人、採用に対する意欲が依然低い。中小企業を中心として、従業員の採用について前向きな様子がうかがえない。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・21年6月の新規求人数は、前月より微増であるが、前年比で減少が続き、有効求人倍率も最低水準が続いている。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・わずかに求人は増え始めてきたが、製造業における現場系の求人において、復活の兆しが全く見えない。
やや悪く なっている	学校[専門学 校](副校長)	求人数の動き	・専門学校に対する求人数も一向に増加する傾向が見られないが、高校生に対する求人数は更に悪い状況である。
悪く なっている			